

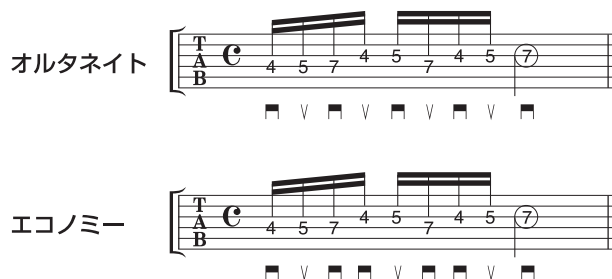
注意点1



オルタネイトとエコノミーを瞬時に使い分けるべし!

ギターという楽器には、弦楽器特有のフレージングが存在し、そのさまざまなフレーズに合わせて、ピッキングをオルタネイトかエコノミーに切り替える(図1)。ただしフレーズによっては、このふたつのピッキングが混ざり合うパターンもあるのだ。これまでは、片方のピッキングに集中して練習をしてきたが、より速く、無駄なく弾くためには、このふたつのピッキングを自分の意志のおもむくままに、自由に切り替えられるスキルを養わなくてはならない。慣れるまでは頭だけではなく、右手が混乱するかもしれないが、常に最も効率的な動きを考えながら、フレキシブルにピッキング・パターンを選ぼう。

図1 オルタネイトとエコノミーの違い



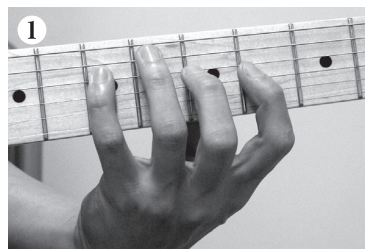
実際に弾き比べてみて、どちらの方が速く、正確に弾けるか試してほしい。

注意点2



常にミュートを意識して人差指を移動させよう

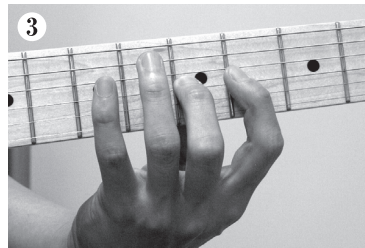
このフレーズのピッキングは、オルタネイトをベースに、部分的にエコノミーが入っている。実はオルタネイトだけで弾くことも可能なのだが、ここでは2つのピッキングを使い分ける練習をしてもらいたい。1小節ごとにポジションが変化しているが、基本的に同じフィンガリング・パターンのくり返しとなっているので、1小節目をキッチリと練習すれば最後まで弾きとおせるだろう。特に注意してもらいたいのは、各小節の後半部分だ。写真は1小節目3拍目となっているが、小指で4弦7フレットを押弦している時に、次に3弦4フレットを押弦する人差指で隣接弦に触れてミュートするようにしよう。常に人差指は、隣接弦のミュートを意識しながら押弦することが大切だ。



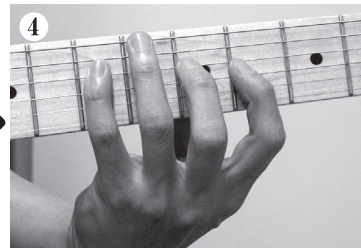
1 4弦 7f を小指で押弦。次の人差指の押弦準備をしておく。



2 3弦 4f を人差指で押弦。人差指で隣接弦もミュートしよう。



3 3弦 5f を中指で押弦。人差指は動かさず小指を準備。



4 4弦 7f を小指で押弦。他の指が離れないように注意!

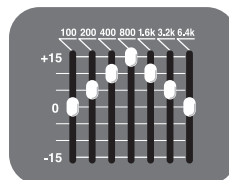
～コラム 40～

地獄の戯れ言

ここでは、少し話題を変えて速弾きのためのサウンド・セッティングを考えてみよう。超絶ギタリストを目指すなら、テクニックを磨くと同時に、観客が聴きやすいサウンド作りにもこだわらないといけない。基本的に人間が聴き取りやすい音域はミドル(中音域)である。そのため、この温かみを感じさせる音域をブーストしてあげると良いだろう。イコライザーでセッティングすると図2のようなになる。簡単に言えば、ローとハイを極端にブーストしたドンシャリの逆になるというわけだ。このセッティングにすることで、ハンマリングやプリングも出しやすくなるので、全体的に演奏もしやすくなるだろう。

速弾きのためのサウンド・セッティング

図2 セッティング図



山形にセッティングし、中音域をブーストする。
少し鼻がつまったようなサウンドになると良いだろう。